

平成23年度 事業報告

倉敷芸術科学大学

4年後の創立20周年を前に、教職員一体となって、地域になくてはならない、より魅力ある大学づくりに邁進します。



1. 大学基準協会によって行われた認証評価の内容を精査し、教育研究、施設設備の充実を図り、地域になくてはならない大学として努力しました。

2. 大学の諸規程を見直し、大学設置基準を守り、より効率的な運営を行いました。

3. 芸術と科学を融合した芸術科学の特徴を生かし、幅広い知識と柔軟な思考力を身に付けた、問題解決型人材の育成に力を入れました。

4. 入学定員の確保のため、学部学科のありかた、外国人留学生受け入れ体制の強化等に努めました。

5. 附属施設「ヘルスピーア倉敷」を産学官連携のもと、社会に開かれたライフサイエンス実践道場として広く利活用されるように努めました。

2. 平成24年4月開設予定の別科（1年課程・調理師養成、2年課程・製菓衛生師養成）の学生受入れのための創設準備を行いました。

倉敷芸術科学大学 学長 添田 喬



※添田 喬学長9月30日付退任、
10月1日付唐木 英明新学長就任

教学の充実

■キャリア教育

平成18年度から3年間、現代GPで培ったスキルをもとにさらに発展させ、「倉敷まちづくりプログラム」と位置づけ、前年度に引き続き前に踏み出す力、チームで働く力、考え抜く力を養うための職務体験を通して、課題発見力・実行力・状況把握力等、自らの役割を見つけ、積極的に自立・挑戦していけるキャリアの形成や社会人に求められる基礎的能力を高める教育を行いました。

■産官学連携教育

倉敷市の推進する中心市街地活性化事業や経済産業省所管の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業と協力し、都市づくり、産業、観光振興など地域と連携した人材育成を進めました。また、デザイン・映像分野では企業や行政機関から依頼される製品デザイン・CM等の製作により、学生の意欲向上をめざした生きた課外授業を行いました。

■高大連携教育

文部科学省SSH(スーパーサイエンスハイスクール)採択校の岡山県立玉島高等学校とはIT科学や生命科学分野、岡山県立総社南高等学校・香川県立高松工芸高等学校および広島県立熊野高等学校とはキャリア教育や美術工芸分野、岡山理科大学附属高等学

校とは美術工芸、デザイン、アニメーション、IT科学分野での連携を引き続き行い、大学、高校間の境目のない接続教育と本学の教育理念「芸術と科学の協調」の実現に努めました。

■入学前教育・初年次教育・公務員対策講座

昨年度に続き、学習支援センターを中心に入学前の新入生に対し、課題をまとめた「Learning Support(入学前教育課題集)」や「学習支援センターだより」を作成、送付し、新入生が大学生活に期待や希望を抱いて入学できるよう、入学前準備教育を行いました。1年次対象に前・後期基本英語、基本数学、基本化学、基本物理の4科目8単位を、また、前・後期に全学年対象の公務員試験(数学)対策講座を加えることにより、初年次教育を充実させました。

教育改革支援事業

■岡山オルガノン

平成21年度から23年度までの3年間文部科学省「大学改革推進事業」の採択を受け今年度が最終年度となりました。この事業は、岡山県内15大学が連携し、(1)教養教育の充実・共同FD・SD活動による「学士力」育成、(2)実践的キャリア指導・社会活動への参画による「社会人基礎力」育成、(3)地域連携による人材育成・地域貢献活動による「地域発進力」育成の3つの力の育成により岡山県から発信される地域創生型の人材育成に努めました。本学は、E-Learningで開設する倉敷まちづくり科目を3科目提供しました。

■キャリアデザインの発想による産学実践教育

平成22年度から26年度までの5年間文部科学省「大学生の就学力育成支援事業」に採択され、就職部(現キャリアセンター)・学生部、教務部(現学務部)・学習支援センター・健康管理センターの5つの部署が連携した複合的な就業支援体制を築きました。また、両備

グループと連携した産学実践教育を展開しました。さらに、キャリア教育科目を段階的に必修化して、人間関係形成能力・情報活用能力・将来設計能力・意思決定能力・職業適合能力の5つの能力を向上させ、就職率を伸ばす取組みを行いました。

新設学科・コース等

■留学生別科

神戸留学生別科1年半コースを募集停止とし、1年コースのみの入学定員190名としました。1年半コースについては、本校のみとなり、アジア系留学生を中心に受け入れ、大学の授業に支障がでないよう、十分な日本語教育を行い、関連大学を含め、本学への進学を促しました。

■経営情報学科

IT科学科と起業経営学科を統合し、経営分野と情報分野の領域横断的教育と研究を行う、技術知識を身に付けた企業経営者の育成や企業経営センスを身に付けた情報技術者の育成をめざす経営情報学科を設置しました。

■アロマ・サイエンスコース(生命科学科)

生命科学部生命科学科では、香りの調合や食品・化粧品等への配合を学び、また、香りの分析や合成、香料植物の栽培、香りの効果やアロマセラピーも併せて学び、広く香りの業界で活躍できる人材を育成するコースを設置しました。

■健康医療学科

健康維持を主体とした教育・研究をめざし、東洋医学に基づくはり師・きゅう師の養成、健康運動やスポーツ活動における障害予防・身体ケアを担うアスレティックトレーナー(AT)の養成、メンタルケアのできるセラピスト、また生活習慣病に対する予防策としての薬膳等を取り入れた食生活指導ができる人材等、総合医療的に人間の健康ケ

アができる人材の育成をめざす健康医療学科を設置しました。

申請・届出関係

■入学定員の見直し

芸術学部メディア映像学科の入学定員を30名から35名に、産業科学技術学部経営情報学科の入学定員を60名から50名に、生命科学部生命医科学科の入学定員を45名から50名に変更する届出を行いました。

■別科の新設

併設の「倉敷 食と器 専門学校」を募集停止し、本学組織の別科として新たに調理師別科（1年課程）と製菓衛生師別科（2年課程）に改編するための申請を行い、平成23年10月別科での養成施設として認可されました。

2部優勝（H23. 5. 20～22）

（2）全日本学生柔道優勝大会

3回戦敗退（H23. 6. 24～26）

（3）中四国学生柔道体重別選手権大会

団体戦 第3位（H23. 9. 3～4）

■空手道部

（1）中四国空手道選手権大会

個人形 第2位（H23. 5. 8）

■アーチェリー部

（1）岡山県新人戦

第1位（H23. 9. 25）

■ウエイトリフティング同好会

（1）中国ウエイトリフティング競技選手権大会

第1位（H23. 8. 20）

■フィギュアスケート同好会

（1）全日本インカレ

女子Aクラス総合第16位（H24. 1. 6～9）

（2）国民体育大会

成年女子第7位入賞（H24. 1. 28～31）

課外活動

■バスケットボール部

（男子）

（1）中国大学バスケットボール選手権春季大会
優勝（H23. 4. 29～5. 3）

（2）中国学生バスケットボール大会新人戦
優勝（H23. 6. 16～19）

（3）中国学生バスケットボール選手権秋季大会
優勝（H23. 9. 9～10. 16）

（女子）

（1）中国大学バスケットボール選手権大会
第3位（H23. 4. 30～5. 3）

（2）中国学生バスケットボール大会新人戦
優勝（H23. 6. 16～19）

■柔道部

（1）中四国学生柔道優勝大会

学生募集

■重点地区・加計グループ力を利用した広報戦略

兵庫県西部、北部および広島県東部を重点地区として各学部から担当者を決めて重点的に広報活動を実施しました。沖縄県では説明会の実施、福岡県においても初の説明会を企画する等、加計グループ力を結集して効率的な広報活動を展開しました。

■ホームページの充実

①モバイル（携帯電話）版ホームページの充実

モバイル（携帯電話）版ホームページをさらに充実、学長コラム、副学長コラム、職員コラム、適正学科診断等を企画、オリジナルキャラクターを利用してより高校生目線による展開を行いました。制作には、学生を起用し、より親しみやすいホームページ作りを目指し、学部学科情報、入試

情報、オープンキャンパス案内等トピックスを一括送信できる体制を整備しました。

②留学生対象のホームページ

昨年度から継続して留学生へのアプローチを強化するため、海外からのアクセスで、学部学科情報、入試情報、学納金情報、下宿情報などが入手できるように外国語版ホームページを整備しました。これにより、優秀な外国人受験生、留学生の確保に努めました。

■大学トピックスのタイムリーな公開

受験生に対して、本学が伝えたい情報を1枚のチラシにまとめて、タイムリーに大学の情報を広報できるよう展開しました。

■高校生のための芸術展の開催

芸術学部においては、第6回全国高校生現代アートビエンナーレ展を平成23年12月3日～23日大原美術館にて開催し、認知度向上のための広報活動の一助にしました。

■大学の将来を考える「将来構想検討会」の起ち上げ

入学志願者をいかに増やすか、魅力ある大学にするためにはどうしたらよいかを次の世代を担う若手教職員を中心に考えていく「将来構想検討会」を10月に起ち上げ、大学の将来について、活発に議論しました。

就職活動支援

■就職ガイダンス・就職対策講座等

就職ガイダンスは、3年次・修士1年次生を対象に年間15回計画しました。早期から学生の就職に対する意識の向上を促すため、3年生の前期から実施し、OB・OGの体験報告会をはじめ、マナー・メイク講習、個人／集団面接トレーニングや

集団討論トレーニングのほか、企業担当者を招いての業界研究会なども取り入れて実施しました。就職対策講座は、8月と12月に計4日間実施し、自己分析対策、筆記試験対策等を集中的に実施しました。また、公務員採用試験対策講座を通年で実施し、公務員希望者の支援を行いました。

■職業適性等

3年次生対象に、年2回（7月・10月）SPI適性模擬検査を実施しました。また、11月には就職実践模試（一般常識・基礎学力テスト）やエントリーシート攻略テストを実施するなど、実際の就職試験に備えました。

■就職支援

就職関連情報を、学内主要箇所に設置した大型表示モニターにリアルタイムで表示するとともに、学生の携帯電話やパソコンにメールで配信し、適時に情報を提供しました。また、学生は本学向け求人情報をキャリアセンターホームページで閲覧できるほか、学生控室に設置したタッチパネルでも常時閲覧可能としました。採用試験に向けた面接指導や履歴書指導のほか、就職に関する相談もキャリアセンターで随時受付し、学生に対するきめ細やかな就職支援を行いました。

■就職懇談会

企業担当者と教職員が情報交換を行う、加計グループ合同の就職懇談会を、東京（11月）、広島・大阪（3月）で開催し、就職先の開拓や採用情報の入手に努めました。また、2月には企業担当者を本学に招いて行う学内就職懇談会を開催し、参加企業と学生との面談会、教職員との情報交換会を実施しました。

■「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム

キャリアセンター（旧就職部）の取組み「入学から卒業までの総合的就職サポート体制の構築」が平成21年度から23年度までの3年間文部科学省

「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに採択され、今年が最終年度となり、順次申請計画に基づき、計画どおり実行しました。

主な行事

人事・組織

■学長・副学長・学部長等の改選

任期満了に伴い、学長、学長顧問、副学長、学長補佐、学部長、研究科長の改選が行われました。学長は、添田 喬氏(再任)、学長顧問には、土井 章氏(再任)、副学長には、加計 悟氏(再任)・藤原敏勝氏、副学長補佐には、河邊誠一郎氏、また、芸術学部長・芸術研究科長は、田中 孝氏(再任)、産業科学技術学部長・産業科学技術研究科長には、中島道夫氏、生命科学部長には、宮野善盛氏、人間文化研究科長には、妹尾 護氏(再任)が就任しました。なお、9月30日付添田 喬氏が学長を退任し、10月1日より唐木英明氏が学長に就任しました。

■キャリアセンター

低学年から就業意識をもたせ、早い時期からキャリア教育を行い、就業力を育成・支援していくため、現行就職部からキャリアセンターへ名称を変更し、幅広く学生の就職活動の支援を行いました。

■学務部

組織の簡略化・効率化を図り、学生サービス面を縦割りの組織から、横断的な学生支援体制にするため、学生部と教務部を統合し、学務部に名称を変更しました。

■留学生別科・インターナショナルセンター

増加する留学生問題に素早く対応するため、学園の設置する留学生別科をまとめる留学生別科長を置き、さらにインターナショナルセンターに次長職を設けました。

4月 2日	大学院（通信制）入学式
4月 5日	入学宣誓式
4月 6日 ～ 8日	新入生・在学生オリエンテーション
4月16日	霞祭
6月19日	来て見ん祭（オープンキャンパス）
7月30日 ～31日	オープンキャンパス
8月 2日 ～ 6日	前期定期試験
9月 3日	教育懇談会（地方会場）
9月10日	教育懇談会（本学会場）
9月17日	学園50周年記念J2リーグ [®] 試合（フジアール岡山-ジェフユナイテッド千葉）
9月22日	後期オリエンテーション
9月23日	学部通信教育課程学位記授与式
10月 7日	留学生別科1年半コース入学宣誓式
10月10日	オープンキャンパス（授業公開）
10月29日 ～30日	芸科祭
11月 2日	加計グループ就職懇談会（東京）
11月19日	学園50周年式典
11月20日	オープンキャンパス
12月 3日 ～23日	高校生現代絵画・イラスト [®] エンターレ展
2月 6日 ～10日	後期定期試験
11月23日	オープンキャンパス
2月13日	就職懇談会（本学）
3月 2日	就職懇談会（広島）
3月 9日	就職懇談会（大阪）
3月23日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成23年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		収容定員	在学者数		秋期入学 ※		
			留学生	社会人		留学生	社会人			
大学院	芸術研究科（博士）	4	6	1	1	12	10	1	2	
	芸術研究科（修士）	20	9	0	0	40	17	0	0	
	産業科学技術研究科（博士）	4	3	0	0	12	4	0	0	
	産業科学技術研究科（修士）	16	9	0	0	32	18	0	0	
	人間文化研究科（修士）	15	5	3	0	30	14	10	0	
大学院 計		59	32	4	1	126	63	11	2	0
学部	美術学科	(募集停止)	—	—	—	0	3	0	0	—
	美術工芸学科	35	22	0	0	160	123	2	0	
	メディア映像学科	30	44	1	0	120	133	7	0	
	工芸・デザイン学科	(募集停止)	—	—	—	0	1	0	0	—
	デザイン学科	35	30	1	0	130	145	2	0	
計		100	96	2	0	410	405	11	0	0
技術学部	IT科学科	(募集停止)	—	—	—	100	58	6	0	—
	起業経営学科	(募集停止)	—	—	—	90	81	54	0	—
	経営情報学科	60	43	31	0	60	43	31	0	
	観光学科	45	40	28	0	175	154	91	2	
計		105	83	59	0	425	336	182	2	0
生命科学部	生命科学科	45	54	0	0	175	201	0	0	
	健康科学科	55	74	0	0	235	242	0	0	
	生命動物科学科	65	70	0	0	271	288	0	0	
	生命医科学科	45	48	0	0	175	204	0	1	
	健康医療学科	30	19	0	1	30	19	0	1	
計		240	265	0	1	886	954	0	2	0
学部 計		445	444	61	1	1,721	1,695	193	4	0
通学制 合計		504	476	65	2	1,847	1,758	204	6	0
大学院 (通信制)	芸術研究科（修士）	10	2	0	1	20	4	0	3	
	産業科学技術研究科（修士）	20	0	0	0	40	0	0	0	
	人間文化研究科（修士）	30	4	0	3	60	10	0	9	
計		60	6	0	4	120	14	0	12	0
学部 (通信教育課程)	産業科学技術学部	(募集停止)	—	—	—	500	12	0	4	
計		—	—	—	—	500	12	0	4	0
通信制 合計		60	6	0	4	620	26	0	16	0
総合計 (通学制+通信制)		564	482	65	6	2,467	1,784	204	22	0
留学生別科	留学生別科	60	17	17	—	70	35	35	—	11
	神戸留学生別科	190	8	8	—	230	36	36	—	—
	留学生別科 計	250	25	25	0	300	71	71	0	11

※ 秋期入学については、5月2日以降（平成23年5月2日～平成24年3月31日）に入学した者です（単位：人）

■卒業者数等一覧

(平成23年度)

区分	修了者・卒業者	満期退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	博士	2	0	0	0%	-	0	0	0
	修士	23	-	13	13	100%	3	4	0
学部	351	-	210	182	87%	20	82	24	41
大学院(通信制)	5	-	-	-	-	-	0	0	3
学部(通信教育課程)	2	-	-	-	-	-	0	0	5
留学生別科	53	-	-	-	-	52	21	0	1

※ 修業年限を超えて在籍している学生数(平成24年4月1日現在)

(単位:人)

主な就職先	エス・ハイ・エル・カハヤ(株)、(株)倉敷アビエースクエア、三共ボリエレン(株)、(株)ファルコバイオシステムズ、日本ケア(株)、(財)足立美術館、越前松島水族館、大阪赤十字病院、福山市役所、岡山市消防局 大阪府警察本部 他
-------	---

■教職員数

(平成23年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員計	事務職員
1	2	72	21	14	6	1	2	119	61

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

年度 科目	23年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	2,651,761	2,764,238
補助金収入	487,560	497,939
その他収入	280,446	143,248
帰属収入合計	3,419,767	3,405,425
基本金組入額合計	△ 249,555	△ 37,643
消費収入の部合計	3,170,212	3,367,782
人件費	2,920,277	2,255,844
教育研究経費	1,085,271	1,140,809
管理経費	278,942	271,466
その他支出	26,267	27,344
消費支出の部合計	4,310,757	3,695,463

※人件費に退職給与引当金特別繰入額を計上しています(14頁参照)

■施設設備整備(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
トイレ改修工事(女子、人感センサー)	5,000
5号棟3階盗難防止用ドア設置	2,205
ヘルスピア倉敷フットサルコート改修工事2面	6,930
ヘルスピア倉敷追加改修工事	50,000
芸術学部関係PC設備	24,300
学内ネットワーク整備更新	99,999
証明書発行機更新	9,434
就業力育成支援事業[補助金]	2,827
観光学科図書[創設経費]	1,705